

活動レポート

中央区会 施設でマジック18年

中央区会活動の自慢の一つは、18年続くマジックボランティアです。訪問先は軽度知的障害施設「真愛ホーム」。菫合警察署近く、大安亭市場の入り口にあります。男女4人でチームを組んで毎月1回、約30人の入所者を相手に日ごろの芸を披露しています。



入所者の方々も私たちを楽しみにして

マジックを披露するスタッフ

おられる様子で、会場に入ると「待ってました」とばかりに手を振って迎えてくれます。

演技は1人15分程度。複雑なものより、赤や黄色、緑の色鮮やかなハンカチを使ったものや、仕掛けの大きいものが視覚に入り易いのか、喜ばれます。

退出時には拍手とともに「ありがとう。楽しかったわ」「待ってるよ、また来てね」。ねぎらいの言葉とともに、笑顔で見送ってくれます。私たちも感謝の気持ちでお別れします。

〈今度はどんなマジックで楽しませてあげようか〉。未熟なマジックながら、楽しみに待っていてくれる人がいる限り、これからも頑張っ続けてようと、思いを新たに帰途につきます。

(久保正志・国14)

卒業記念の梅林800本に

「梅植樹 咲いたらみてねと 子らに言い」

「梅植樹 早く咲いてと 子らは言い」

花山梅林恒例のイベント、卒業記念植樹が花山小6年生77人によって3月3日に行われました。ほどほどの寒さの下、桃の節句ならぬ、梅の節句となりました。今年の50本で800本あまりになり、神戸一になる？植樹準備や指導の労を思いつつ、次世代が大人になり、このシルバーの活動を引き継いでいってくれればと願う気持ちです。23日には



植樹する花山小の子どもたち

私のボランティア日記

たんすの肥やし代表 藤本明美 (生17)

×月×日 毎週金曜日になるとカレッジに登校し、校舎2階エレベーター横に設置した、古着回収ボックスのチェックをしている。昨年4月から開始し回収物は全て、ホームレス、DV被害者の女性や子供など、生活弱者を支援しているNPO団体に寄付している。その重量は、今年2月には何と3トンを軽々と超えた。KSC関係者の皆様のご協力に感謝あるのみだ。

正直この量は、開始時には予想できなかった。設置するボックスは在校生の方のお邪魔？にならないようにと低いベンチ型にしてもらったが、もう少し大きく製作してもらえば良かった…と後悔することしきり。心なしか黄色いポップな棺桶に見えなくもなく、毎週ボックスを見る度にニヤリとしてしまう今日この頃である。

観梅会があり、地域の人たちを含めて約100人が梅の香りを愛でつつ、ひと時を楽しみました。学校を取り囲む見事な梅園に育ちつつある姿を、一度見に来てください。(花山梅林会・徳原尚世)

神戸国際交流フェアに参加



〈わ〉の展示を見る参加者

3月15、16日の2日間に亘って国際交流フェアが行われました。

1日目は外国人留学生によるスピーチ大会で、小学生から大学生まで将来の夢について語ってくれました。夜は交流パーティーにも参加して若返りました。

2日目はハーバーランドのスペースシアターで、ステージと展示や物品販売のお祭りです。

「グループ〈わ〉は、何冊の英語点字翻訳をやりましたか？」

クイズラリーにも参加して、ポスターの活動写真の中から答えを探すのに来客満杯の一日でした。

(柳川瀬淳一・国13)